

第69回宮城県高等学校総合体育大会について

宮城県仙台西高等学校

校 長 菊地 茂克

本日4月30日、宮城県高等学校体育連盟は5月22日から予定されていた第69回宮城県高等学校総合体育大会（県総体）について中止を決定いたしました。

このことについては、4月26日、全国高校体育連盟の臨時理事会において、今夏の全国高校総合体育大会の中止が決定されたことを受け、さらに県内の状況を考慮し決定されました。

理由として、以下の2点があげられています。

- （1）新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、生徒の健康・安全面を最優先に考えるため。
- （2）各校において臨時休業に伴う部活動自粛が継続しており、競技会に臨むための十分な準備期間を経ての大会実施が困難であるため。

本校においては、生徒の皆さんや家族の方々の生命、健康を第一に考え、休校措置を継続しています。そのような環境の中でも、多くの運動部の皆さんが県総体を目指し、そしてその先にある全国大会出場を目標に活動してきたことと思います。

昨年度の総体や新人戦での結果を踏まえて、冬場のトレーニングに励んできた成果をいよいよ発揮すべく春を迎えたことと思いますが、各種大会の中止の上に今回県総体が中止となってしまったことは大変残念であり、悔しい思いで一杯です。

実際に活動してきた生徒の皆さん、そしてともに活動を重ねてきた顧問の先生方、応援してくだれた保護者の皆さんの思いを想像しますとその辛さはいかほどかと思うところです。今思うことは、皆さんが目標を設定して厳しい練習で身に付けた忍耐力、諦めずに努力し続ける力、レベルを上げるために流してきた汗、そうした全てが皆さんにとって大きな財産であるということです。

本来ならば、部の仲間や顧問の先生方と顔を合わせて、今のことやこれからのことについて話し合い、思いを共有したいところでしょうが、非常事態宣言が継続されている中、それもままなりません。顧問の先生方に成り代わり、皆さんに対して思いを伝えさせていただきました。

『志を立て 耐えて 励んで 夢実現』

今年度改めて本校のスローガンとした言葉です。

今は耐える時期です。これまで一日一日を大切に積み上げて成長した皆さんが今ここにいます。その姿は確かなものです。今の自分を支えにして、また楽しくスポーツができる日のために、今は自宅でできることを続けてほしいと思います。

【担当】生徒指導部
三浦 公浩